

『コミュニケーションを楽しむ子供の育成』

～「伝え合おう」が生まれる外国語・外国語活動～



主題に迫るための手立て〈4つの柱〉

目的意識を
もたせる
ための工夫

他者意識を
もたせる
ための工夫

自己表現力を
育てる
ための工夫

外国語に慣れ
親しませる
ための工夫

練馬区立中村小学校

あいさつ

練馬区教育委員会 教育長 河口 浩

東京2020大会を来年度に控え、グローバル化のさらなる進展が予想される昨今において、子供たちには多様な国の言語や文化に対する理解を深め、様々な人々と積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度や、情報や考えなどを的確に理解し適切に伝える力を身に付けることが求められています。

このような中、練馬区立中村小学校は平成30年度・令和元年度、練馬区教育委員会教育課題研究指定校として、研究主題「コミュニケーションを楽しむ子供の育成～『伝え合おう』が生まれる外国語・外国語活動～」を掲げ、「目的意識をもたせるための工夫」「他者意識をもたせるための工夫」「自己表現力を育てるための工夫」「外国語に慣れ親しませるための工夫」という4つの柱を手だてとして、研究を推進してきました。

授業においては、コミュニケーションの活性化や主体的な伝え合いを促すために、児童の興味を引く単元の目的を示し、その目的を達成するために必要な活動を設定することで学習に必然性をもたせる工夫や、どの教員が外国語の授業を行っても一貫した指導が展開できるよう中村小スタンダードの作成等に取り組みました。また、校内掲示や朝会・集会、給食放送などの内容を工夫し、児童が日常的に外国語に慣れ親しむことを通して、外国語に関する知識やスキルの向上を図りました。

こうした取組により、児童の英語による表現力や相手とのやり取りの力が高まったこと、コミュニケーションを図る基盤となる他者意識が向上したことは大きな成果であると捉えております。本校の研究成果は、各校における児童のコミュニケーション力を一層高める授業づくりに大きく寄与するものと期待しております。

結びに、本校の研究に対して温かくご指導いただきました玉川大学教職大学院教授 佐藤 久美子先生、練馬区立谷原中学校校長 大槻 亨先生には心より感謝申し上げます。そして、本校の研究を推進してこられました井上 靖校長をはじめとする教職員の皆様に敬意を表し、あいさつといたします。

はじめに

校長 井上 靖

平成30年度・令和元年度、練馬区教育委員会教育課題研究指定校として、研究主題『コミュニケーションを楽しむ子供の育成～『伝え合おう』が生まれる外国語・外国語活動～』を掲げて、研究を進めてきました。

外国語活動を領域として研究し始めて5年目となります。当初から変わらぬ教員の思いは、ALT中心の授業ではなく、担任が自らつくる授業を目指して実践することでした。子供の実態を把握し、それに基づいて目指す子供の姿を発達段階に応じて設定し、研究仮説を立てました。その研究仮説を立証するために昨年度までは、研究の視点を明示して研究を進めてきました。

研究が順次進むにつれて、研究主題に迫るための手だてが明確になってきました。それは、①目的意識をもたせるための工夫 ②他者意識をもたせるための工夫 ③自己表現力を育てるための工夫 ④外国語に慣れ親しませるための工夫、の4つです。これらの手だての重要性を説いてくださったのが、いつも温かくときには厳しく見守り関わってくださった講師の先生方です。「知っている単語や表現をもとにして、ジェスチャーも使って聞いたり話したりすることを目指すことができますね。」とご指導をいただきました。そこで本年度は、特に③の自己表現力を育てるための工夫を重点としました。本日の授業で、友達の話す内容や思いを聞き、自分の考えを生き生きと伝え合う姿をご覧いただけすると幸いです。

2年間の研究は、玉川大学教職大学院教授 佐藤 久美子先生、練馬区立谷原中学校校長 大槻 亨先生に講師として大変ご懇篤なご指導を賜りました。誠にありがとうございました。そして、研究発表の機会を与えてくださいました練馬区教育委員会の皆様に衷心より感謝申し上げます。

1 研究構想図・主題設定の理由

今の子供たちには、グローバル化や技術革新、人工知能の進化などの急速な社会の変化に積極的に向き合い、他者と協働しながら問題を解決していくことが求められている。そのためには、多様な人々とコミュニケーションを図ろうとする資質や能力を身に付けることが必要である。しかし、本校は大規模校で子供の数が多いため、大勢の中で自分の気持ちを表に出すことなく過ごすなど、友達同士の関わりが希薄になりがちであった。

そのような社会的背景や子供の実態から、5年前に「コミュニケーションを楽しむ子供の育成」という主題を掲げ、外国語・外国語活動の研究をスタートさせた。さらに、目的意識をもたせる活動の充実や、他者意識を育てる関わり合いの実践などの研究を経て、昨年度に練馬区教育委員会より教育課題研究指定校の指定を受け、副主題として「伝え合おう」が生まれる外国語・外国語活動を設定した。そして、子供たちの中に「伝え合おう」という合言葉～「相手のことを知りたい・自分のことを伝えたい・伝え合ってよかったです」という、主体的にコミュニケーションを楽しもうとする思い～が生まれる活動を目指した。今年度は、そのために必要とされる「自己表現力」を育てる手立ての重点に置き、研究を進めた。

学習指導要領

- ・言語や文化について理解を深め、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しませる。
- ・自分の考えや気持ちなどを伝え合う力の素地を養う。
- ・相手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

教育目標

- よく考える子ども
- さいごまでやりぬく子ども
- 明るく元気な子ども
- なかよく助け合う子ども

社会的背景

- ・知育、德育、体育を基盤とした「生きる力」の育成。
- ・様々な変化に積極的に向き合い、他者と協働して課題を解決していく力の育成。
- ・東京オリンピック・パラリンピックを視野に入れた、多様な人々と積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成。

子供の実態

- ・自分のことを伝えたい、相手のことを知りたいという思いはあるが、分かりやすく伝えられなかったり、他人任せにしたりしてしまうところがある。
- ・すんなり友達と関わろうとする子供もいるが、相手の気持ちになって行動できない子供もいる。

教員の願い

- ・もっと自分の思いを自分の言葉ですぐに伝えられるような自己表現力を育てたい。
- ・間違いや失敗を恐れず、勇気をもってチャレンジしてほしい。
- ・他者意識をもち、相手の気持ちを考えて思いやりをもって関わってほしい。

研究主題

『コミュニケーションを楽しむ子供の育成』 ～「伝え合おう」が生まれる外国語・外国語活動～

◎目指す子供の姿（コミュニケーションの技術）

低学年	中学年	高学年
楽しく外国語を話したり 聞いたりする子 (発する+受け止める)	すんなり外国語で 思いを伝え合う子 (発する+受け止めて返す)	外国語で思いを伝え合う 喜びを感じられる子 (発する+受け止めてつなげる)

◎研究仮説

子供たちに目的意識、他者意識をもたせ、自己表現力を育てる工夫をすることで、「伝え合おう」という思いが生まれ、コミュニケーションを楽しむ子供が育つであろう。

○主題に迫るために手だて（授業内）

目的意識をもたせるための工夫

- ・意欲が生まれる単元、授業づくり（子供たちの「～したい」を生かす）
- ・中村小スタンダード（1時間の流れ）の作成
- ・「学習の流れ」カードの活用
- ・ICTの活用

他者意識をもたせるための工夫

- ・合言葉「アイスクリア」
アイコンタクト
スマイル
クリアボイス
リアクション
- ・表情
- ・挨拶

自己表現力を育てるための工夫 (☆今年度の重点)

- ・知っている単語や表現を手掛かりに、聞いたり話したりすること
- ・Small Talk
- ・低学年における帯活動「Enjoy Time」
- ・ジェスチャー
- ・言葉の「宝BOX」

（授業外） 外国語に慣れ親しませるための工夫

- ・掲示物（教室内・廊下）
- ・外国語集会
- ・水曜日の英語放送
- ・Grace Time（音楽タイム）
- ・手紙を渡す際の言葉掛け（Here you are. /Thank you.）
- ・全校朝会での話
- ・留学生との交流
- ・外国語クラブ

2 主題に迫るために手だて<4つの柱>

主題に迫る手だてとして、4つの柱を考えました。その内容を、実践例と共に紹介します。

手だて① 目的意識をもたせるための工夫

主体的にコミュニケーションを図ることができるように、必然性のある活動を取り上げ、単元のゴールを設定しました。

目的意識をもたせるための単元設定例

低学年

- 1年生：「たのしくアイスクリームをつくろう」

楽しみながら英語を声に出したり聞いたりすることができるよう、「アイスクリーム屋さんごっこ」という単元を設定しました。アイスクリームを渡す店側とそのアイスクリームを買う客側に分かれ、アイスクリームを完成させるために友達同士で楽しくやり取りを行いました。アイスクリームを自分で作成することで、さらに意欲的に活動をすることができました。

Here you are !



Thank you !

中学年

- 4年生：「プレゼントしたい文房具を、友達と聞き合おう」

「ギフトセットをつくろう」という単元を設定し、フィリピンの子供たちへ送るギフトセットをつくるために、友達同士で送りたいプレゼントを聞き合う活動を行いました。総合的な学習の時間に行っている「外国となかよし」とのタイアップを図りました。ゴールが設定されていたことで、興味をもって聞き合う活動をすることができました。

Do you have a pencil ?



Yes, I do.

高学年

- 5年生：「自分の平成ヒーローについて友達と伝え合おう」

「平成時代に活躍した人物」という単元を設定し、子供たちが、「友達は誰を選んだのだろう。」と興味をもって活動できるようにしました。友達同士でインタビューし合った後、学級ごとにランキング新聞を作成するというゴールを設定し、そのゴールに向けて見通しをもって活動できるようにしました。「より多くの人から選ばれるヒーローは誰なのか。」を想像しながら「わくわく感」をもって活動に取り組むことができました。

Who is your hero ?

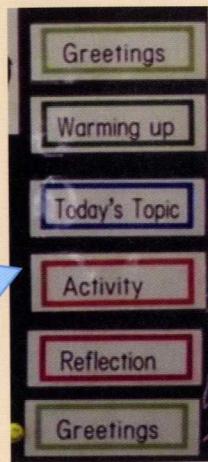


My hero is ○○.

「学習の流れカード」の活用

黒板に「学習の流れカード」を掲示し、見通しをもって活動することができるようになっています。

活動カードの横に磁石を置いて、そのときに行っている活動が何か視覚的に分かるようにしています。



ICTの活用

歌の映像や歌詞のスクリプトを見せるときや、デモンストレーションを行うとき、状況設定を説明するときなどに、目的に応じてICT機器を活用し、情報を分かりやすく提示しています。



手だて② 他者意識をもたせるための工夫

他者意識をもち、お互いに相手を大切にし合うことで「伝え合って良かった、嬉しかった。」という思いが生まれるよう、合言葉『アイスクリア』を大切にしています。

合言葉『アイスクリア』

コミュニケーションの合言葉として『アイスクリア』を掲げています。外国語・外国語活動はもちろん、様々な教科でこの合言葉を掲げ、友達との交流を楽しみながら他者意識を育てています。



コミュニケーションの合言葉は・・・

『アイスクリア』

アイコンタクト
スマイル
クリアボイス
リアクション



授業の初めに、「今日はクリアボイスを意識しよう!」とめあてをもたせたり、活動の合間にアイスクリアを確認したりして、自分も相手も気持ちのよいコミュニケーションがとれることを目指しています!

『アイスクリア』の活用

低学年

●1年生「Hi-Bye リレーゲーム」

低学年では、たくさんのゲームを通して『アイスクリア』のよさにどんどん気付きました。「Hi-Bye リレー」では、『アイコンタクト』を意識するために、握手をするときにウインクをしました。相手の目を見るようになり、自然と『スマイル』も生まれました。

“Hi !!” (挨拶)
“Thank you !” (握手)
“Bye !” (挨拶)



目を見て話してくれば嬉しいな!

中学年

●3年生「This is for you.」

中学年では、やり取りの中でも『アイスクリア』を意識するようにしました。友達の言葉に“Nice!”や“Good!”と『リアクション』をすることで、相手の思いを受け止めた。また、ただ大きい声で言うのではなく、相手が聞き取りやすい声が『クリアボイス』であると気付きました。



私の英語が伝わったんだ!

高学年

●6年生

「Welcome to Nakamura!」

高学年では、ALT や外国人留学生と話すことを通じて、改めて『アイスクリア』の大切さを実感しました。簡単な英語でも、目を見てはっきりと話せば相手に伝わることを学びました。相手も大きくリアクションをしてくれ、笑顔で楽しく交流できました。



目を見て会話をすれば、思いは伝わるんだな!

手だて③ 自己表現力を育てるための工夫(★今年度の重点)

ただ台本に沿って話すのではなく、自分の知っている言葉や表現を駆使してなんとか伝えようとする力「自己表現力」を育てるこことを重点として、研究を進めてきました。

☆自己表現力とは(目指す子供の姿)☆

低学年

聞こえた外国語を真似して、ジェスチャーとともに相手に伝え
てみる。

真似して
伝える

リアクションを
選んで伝える

中学年

自分の知っている言葉や文、
ジェスチャーを使って、自分の思
いを伝えようとする。

5W1Hから
選んで返す

高学年

自分の知っている言葉や文、
ジェスチャーを使って、会話をつ
なげようとする。

伝え合いから
伝え方を
学び合う

⇒活動のステップ⇒

自分の思いを
当てはめて伝える

既習表現を
駆使して返す

自分の考えを
付け加えて返す



間違っても大丈夫ですよ! どんどんチャレンジしましょう!

Enjoy Time

低学年では、授業の初めの時間に帯学
習としてEnjoy Timeを設定しています。
外国語の歌を歌ったり、ゲームをしたりし
て、外国語に慣れ親しんでいます。

英語って
楽しいね!



Small Talk

中学年では、授業の初めに、HRTやALTが既習の表現を使って、授業の内容に関わることなどを話して外国語に対する興味を高めています。高学年では、HRTやALTの話の後に、さらにMini Talkを行い、お互いのことを聞き合っています。1分間を目標に会話を続け、やり取りに慣れるようにしています。

<Small Talk>



This is my picture .
Let's go skiing.

<Mini Talk>



Can you swim?
Yes. I can swim.
How about you?

自己表現力を育てるための実践例

低学年

●2年生「外国語となかよし

～アニマルクイズをしよう～

グループ毎に動物を一つ決めて、3ヒントクイズを行いました。

ヒントには色や大きさなどの他にジェスチャーも加え、自分たちの知っている言葉をフル稼働させ、さらにはジェスチャーで、相手に当ててもらおうと頑張りました。

I am small.
I am blue.
(ジェスチャー) .
Who am I ?



中学年

●4年生「Let's play cards.

～学年お楽しみ会をしよう～

お楽しみ会で遊びたい遊びを友達にPRしました。

自分の好きな遊びを選んでもらうために、なんとか友達を説得しようとしていました。おすすめの遊びを伝え合う中で、伝え方を工夫したり、友達のやり取りをまねて伝え方を変えたりする姿が見られました。

"I like soccer. It's fun!!
Let's play soccer !!"



高学年

●5年生「Who is your hero ?

～あなたにとっての平成ヒーローは?～

平成のヒーローについて、既習の表現や知っている単語を組み合わせたり、ジェスチャーをしたりして、自分なりの表現方法で相手に伝えました。

知っている単語や表現を駆使して、なんとか英語だけで伝えることができる、という手応えを感じるようになりました。

こんなすごい人だよ!



"My hero is Mr. ○○!!
Because he is strong."

「宝BOX」の活用

伝え合うために大切な表現をクラスごとに考え、「宝BOX」に入れて教室に掲示しています。いつでも見ることができるので、英語でのコミュニケーションを、自信をもって楽しむようになりました。

今度はどんな
リアクションを
してみようかな?



手だて④ 外国語に慣れ親しませるための工夫

子供たちが日常的に外国語に親しめるよう、様々な取組をしています。

校内掲示物



校舎内のいろいろな場所に外国語の掲示をしています。階段には、季節、月、曜日、数の表示をしています。外国語掲示板を常設し、季節に合わせた掲示など子供たちが興味をもてる題材を選び、外国語で掲示しています。また、各教室には、よく使う表現や教室名を英語で掲示しています。

外国語集会

集会委員による外国語集会を行いました。

桃太郎の劇を英語で披露したり、動物に関するクイズを出しました。



Grace Time

毎週水曜日の給食時間後、ALT の Grace 先生による校内放送を行っています。

子供たちにとって親しみのある英語の曲を流したり、その時に応じた話題について英語で話をしたりしています。



外国語クラブ

クラブ長を中心に、毎回子供たちが活動を考え、英語の歌や早口言葉、クイズなどを楽しんでいます。外国語クラブから全校の子供たちに向けての劇やクイズも行っています。



どんなクイズにしようかな?

Here you are./Thank you.

配布物を回すときは、思いやりの気持ちをもって "Here you are." "Thank you." と声を掛け合っています。



Here you are.

Thank you.

留学生との交流

留学生を招き、自分の学校や友達について紹介したり、相手の自己紹介を聞いたりして交流をしました。

外国人とコミュニケーションを図るために、自分が知っている単語や文を組み合わせて造語を考えたり、ジェスチャーや擬音で表した

りと「相手に伝えよう。」「会話をつなげよう。」という、子供たちの姿が見られるようになりました。



全校朝会での校長先生の話

毎週の全校朝会の校長講話は、その日の話題に合った英語のフレーズで締めくくるようにしています。

"Summer vacation is coming soon!"

"Our heroes!" "I did it!"

など、校長先生の言葉に続いて子供たちも一緒に外国語を口ずさんでいます。

Summer vacation is coming soon!!



中村アイデア☆アクティビティ

① 目的意識をもたせるための工夫

② 他者意識をもたせるための工夫

③ 自己表現力を育てるための工夫

Number ニヨッキッキ ②

Number, Numberニヨッキッキ!

One!

Two!

友達と見つめ合って!

Three!



数人で輪になり、両手を上げながら「One!」「Two!」「Three!」…と数字を順に言っていく。同じ数字を同時に言わないようにする。

ジェスチャーゲーム ②③

Who am I? (ジェスチャー)

Monkey!

Bird!

体を使って伝えるよ!!



グループを作り、出題者と回答者に分かれ。出題者がお題に合ったジェスチャーを考え、回答者に伝える。

カルタゲーム ③

What food do you like?

I like … ramen!

キーセンテンスの練習に!

Ramen!



キーセンテンスを数回、教員と繰り返し発話してから、友達や教員が英語で言ったカードを取る。

アニマルバスケット ③

What color do you like?

I like…green!

リアクションを選ぼう!



Nice!!

色や動物、食べ物などお題を決めて、フルーツバスケットを行う。オニにみんなで質問し、楽しくリアクションをしてから移動する。

Who am I? クイズ ①③

Hint 1! I like baseball.

Hint 2! I can swim fast.

Hint 3! I'm good at skiing!

Who am I?

既習表現の活用に!



英語でヒントを3つ出し、クラスの誰のことを言っているかをチームで予想し当てる。

Are you ○○?

Bingo! I'm ○○!

Crushゲーム ②

China, UK, Spain…

Crush!

楽しく何度も口ずさめる!

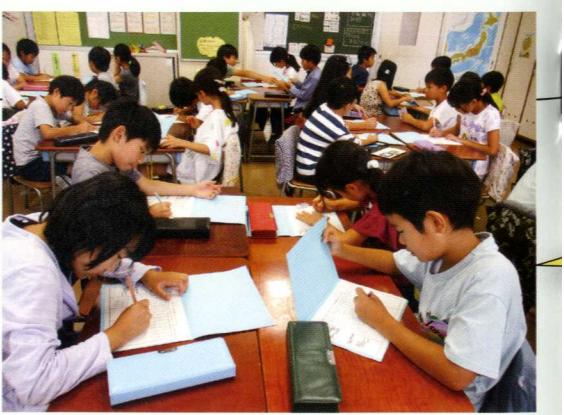
America, France, Australia…



カードを一列に並べる。2つのグループに分かれ、両端からカードを英語で読み進め、ぶつかったところでじゃんけんをする。負けたら列の後ろに並び、次の人がスタートする。先に相手側に行つたチームが勝ち。

3 中村小スタンダード

○中村小学校では、東京都教育庁指導部資料の活動内容を柱とし、「行うことができ、子供たちも見通しをもって学習に臨むことができる教員と一緒にすすんで口にするようになりました。

東京都教育庁指導部資料	中村小スタンダード
	<p>導入</p> <p>○Greetings ・挨拶・歌・How are you? ・カレンダー・天気チェック</p> <p>〈中・高学年〉</p> <p>○Warming up</p> <p>○Small Talk ・歌 ・手遊び ・チャンツ ・復習 ・Small Talk など</p> <p>〈低学年〉</p> <p>○Enjoy Time ・歌 ・手遊び ・チャンツ など</p> 
<p>○活動I 英語の語彙や音声に触れる活動</p> <p>○活動II 会話の表現に慣れ親しむ活動</p> <p>○活動III 自分の思いを伝える活動</p>	<p>展開</p> <p>○Today's topic ・今日の単語練習 ・今日の会話表現練習</p> <p>○Activity ・ゲーム ・やり取り ・発表 など</p> <p>※Writingは、5・6年で、単元に応じてActivityの最後などに取り入れています。</p>  
	<p>まとめ</p> <p>○Reflection</p> <p>○Greetings ・挨拶・歌</p> 

※カレンダー・天気チェックは、挨拶の延長で Greetings の時間に行います。

※絵本は、単元に応じて、Warming up、Today's topic や、Activity の後半などで取り入れています。

中村小スタンダード」という本校独自の学習の流れをつくりました。これによって、教員の誰もが自信をもって授業をようになりました。また、授業の導入とまとめの挨拶の言葉を統一したことで、子供たちが挨拶の言葉に慣れ親しみ、



○授業の最初に

HRT : Let's start our English class.

HRT / Today's leader : Let's stand up.

Students : Let's stand up.

Today's leader /HRT : Good morning Ms. Grace , (and HRT).

Students : Good morning Ms. Grace , (and HRT).

ALT : How are you, today?

Students : I'm (), and you?

ALT : I'm ().

HRT : Let's sing "Hello song".

Today's leader /HRT : Let's sit down.

Students : Let's sit down.

HRT : Let's check today's calendar.

ALT : What's the date today?

Students : It's ()().

ALT : What day is it today?

Students : It's ().

ALT : How's the weather today?

Students : It's ().

○授業の最後に

HRT : That's all for today.

Today's leader /HRT : Let's stand up.

Students : Let's stand up.

HRT : Let's sing "Good bye song".

Today's leader /HRT : Thank you Ms. Grace , (and HRT)

Students : Thank you Ms. Grace , (and HRT)

ALT : Thank you .

Everyone : See you next time. Have a nice day.

4 中村小学校 外国語・外国語活動 年間指導内容

(単元名(○時数)・キーセンテンス・トピック)

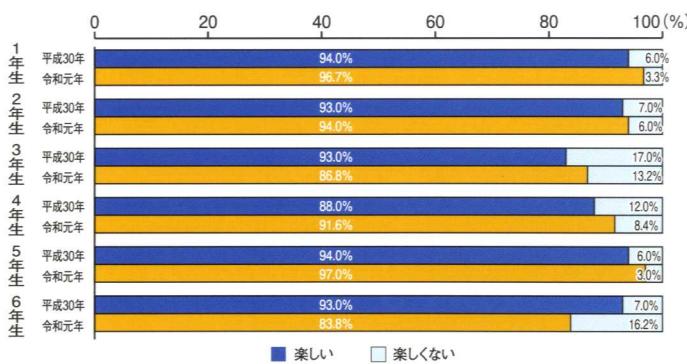
単元	1年	2年	3年
1	えいごであいさつをしよう④ Hello! I'm ○○. あいさつ	アニマルクイズをしよう④ Who am I? I'm ○○. 動物・色・大小	あいさつをして友だちになろう② Hello. Hi. I'm ○○~. Goodbye. See you. あいさつ
2	おしえるよわたしのことしりたいなきみのこと④ I'm 7(6). I like ~. 数・色・果物	おかしやさんごっこをしよう④ What's this? It's~. お菓子	ごきげんいかが② How are you? I'm (happy). あいさつ・状態・気持ち
3	アイスクリームやさんへいこう④ ~, please. 色・果物	デリシャスサラダをつくろう④ How many? ~, please. 野菜・数	クイズ大会をしよう④ How many (apples)? Yes. That's right. No. Sorry. 数・身の回りの物・果物・野菜・形
4			アルファベットとなかよし④ (The "A" card), please. Here you are. You're welcome. アルファベット(大文字)・数
5			すきなものをつたえよう!④ I like (blue). Do you like (blue)? Yes, I do. No, I don't. I don't like (blue). 色・スポーツ・飲食物
6			3年生商店街を作ろう④ What do you like? I like (tennis). What (sport) do you like? I like (soccer). 数・色・果物・野菜・飲食物・スポーツ
7			クリスマスカードを作ろう⑤ What do you want? (A star), please. Here you are. This is for you. Thank you. You're welcome. 形・色・数・動物
8			これなんだクイズ大会をしよう⑤ What's this? Hint, please. It's (green). That's right. 数・果物・野菜・飲食物・動物・色・形・状態・気持ち
9			きみはだれ?⑤ Are you (a dog)? Yes, I am. No, I'm not. Who are you? I'm (a dog). Who am I? Hint, please. 動物・状態・気持ち・体の部位

単元	4年	5年	6年
1	世界の言葉であいさつをしよう② Hello. good morning. I like~. Good bye. See you. 世界のあいさつ	自己紹介⑧ Hello! My name is ○○～. What ~ do you like? 好きな物・欲しい物	自己紹介⑧ I'm from . What ~ do you like? I like ~. 好きな物・欲しい物
2	学年お楽しみ会をしよう④ How's the weather? It's ~. Let's play cards. Yes, let's./Sorry 遊び・天気	ぼく・私のできること⑧ Can you ~? I (He / She) can ~. 動物・動作	小学校生活・思い出⑧ What's your best memory? My best memory is ~. We enjoyed ~ ing. 行事名・季節・教科・気持ち 施設・状態・動詞の過去形
3	好きな曜日を伝えよう③ What day is it? Do you like ~? 曜日	ぼく・私のヒーロー⑧ Who is your hero? I am (He is / She is) good at ~. I (He / She) can ~. 職業・できること・得意なこと	人物紹介⑧ He is ~. She is ~. I play ~. He (she) can ~. 身の回りの物
4	オリジナル絵本を作ろう④ What time is it? It's ~. (a.m./p.m.) 時刻	行事・誕生日⑦ When is your birthday? My birthday is ~. 世界の行事・月名	自分達の町・地域⑧ We have ~. We can enjoy ~. 施設・建物・気持ち
5	すごろくを作って遊ぼう④ What's this? How many letters? アルファベット(小文字)・数	位置と場所を教えよう⑧ Where is the ~? It's (on/ in /under /by). 建物・身の回りのもの	夏休みの思い出⑧ I went to ~. I enjoyed ~. I saw ~. I ate ~. It was ~. 季節・スポーツ・飲食物・動作動詞の過去形・気持ち
6	ニッポン全国!観光大使になろう⑤ This is my favorite place. Turn right/left. Go straight. 道案内・場所・都道府県	東京 2020 大会で応援したい国⑧ Where do you want to go? I want to go to ~. 国・身の回りの物	日本の文化⑧ Welcome to Japan. You can enjoy ~. 日本の行事・食べ物
7	夢のクリスマスプレゼント⑤ What do you want? I want ~. 食材(野菜・果物)身の回りの物	一日の生活⑧ What time do you get up? I always get up at ~. 日課の表現・頻度	オリンピック・パラリンピック⑥ What sports do you want to watch? I want to watch ~. 競技名・国
8	ギフトセットを作ろう④ Do you have a pen? I have ~. 文房具	料理を注文しよう⑧ What would you like? I'd like ~. 食べ物・料理名・数字	将来の夢・職業⑧ What do you want to be? I want to be ~. I can ~. I'm good at ~. 職業・動作・動詞の過去形 スポーツ・動物・教科・飲食物
9	私の1日を伝え合おう④ I wake up. I go to school. 1日の生活	夢の時間割を作ろう⑦ What do you have on ~? 日・教科	中学校生活・部活動⑧ What club do you want to join ~? What event do you want to enjoy ~? 学校行事・クラブ活動・気持ち 日課・教科

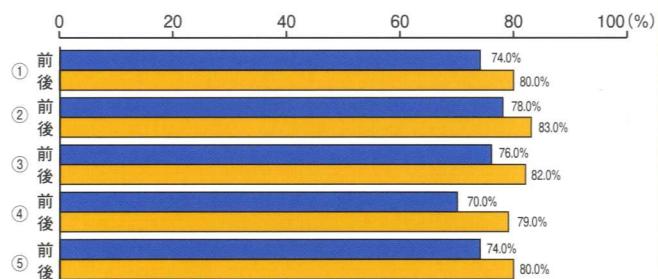
5 成果と課題

◎英語についてのアンケートより

外国語の授業は楽しいですか？(平成30年4月と令和元年7月)

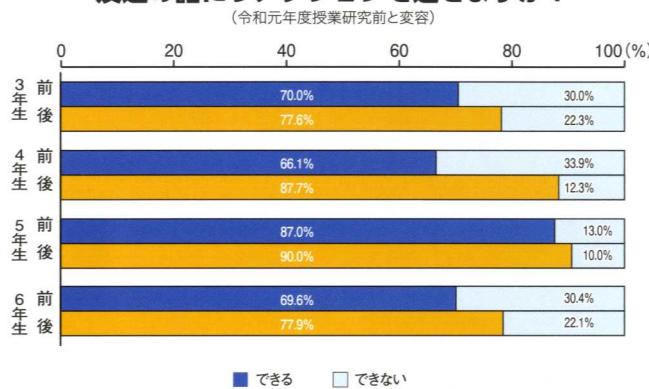


楽しかったこと(6年生) (令和元年度授業研究前と後の変容)



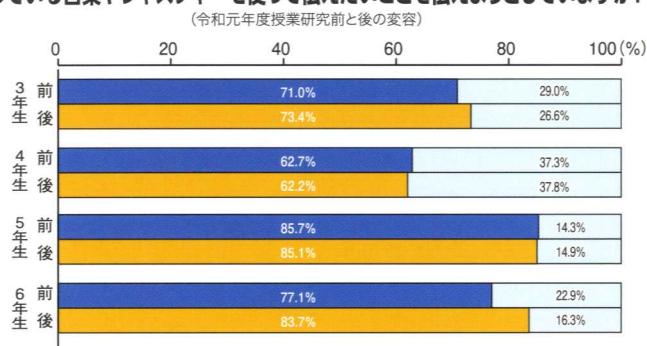
- ①話すこと
- ②新しい言葉を知ること
- ③友達と活動すること
- ④もっと英語で話したい
- ⑤外国の人と話したい

友達の話にリアクションを返せますか？



- できる
- できない

知っている言葉やジャスチャーを使って伝えたいことを伝えようとしていますか？



- している
- していない

1 成果

- 外国語に対する意欲に関して・・・全ての学年で8～9割の子供が外国語を楽しいと感じており、ここ2年間安定した数値を保っている。6年生においては、数値の減少が見られるが、他のアンケート項目をみると、「新しい言葉を知ること」や「もっと友達や外国人の人と英語で話したい」などが上昇している。「前はゲームやクイズが楽しかったけれど、今は友達と英語で話すのが楽しくなった。」という声も聞かれ、「知的な好奇心」への関心が高まっていることがうかがえる。
- 相手意識に関して・・・アンケートをとった3年生以上の全ての学年で数値が上昇した。友達の話を受け止め、言葉を返そうとする意識が高まったことが読み取れる。また、子供たちの振り返りカードにおいて、「友達の目を見て話した方が、気持ちが伝わると分かった。」「笑顔で話してもらって嬉しかった。」「『クリアボイス』とはただ大きい声で話すのではなく、相手に届くちょうどよい声がいいと気付いた。」などの記述が見られた。子供たちの間に「アイスクリア」の合言葉が浸透し、相手意識が育ったことがうかがえる。
- 自己表現力に関して・・・高学年で高い数値や上昇が見られた。学年が上がるにつれ、話をつなぐこつを友達同士で共有し、自分たちで工夫して思いを伝え合う姿が見られるようになったことが読み取れる。

2 課題

- 高学年になるにつれ、活動が難しくなり、個人差が広がるため、子供たちの意欲の維持が難しくなってきている。外国の方と対話する機会を確保するなど、リアリティーのある活動を開拓していく必要がある。
- すすんでコミュニケーションを図ることができる意欲・態度の育成とともに、そのツールとしての語彙力も必要となってくる。教え込みではなく、子供たちが自分の必要感をもって語彙力を伸ばしていくよう、提示の仕方や言葉の選択においてさらに教員側の工夫が必要である。
- 各学年の評価の方法において、今後、研究を深めていく必要がある。



主題に迫るために4つの手立てを積み重ねてきたことによって、コミュニケーションを楽しみ、すすんで伝え合おうとする子供たちの姿が多く見られるようになった。
来年度からの外国語・外国語活動の全面実施に向けて、研究の成果を継続して実践していくとともに、新たな課題に向けてさらに研究を深めていきたい。

御指導いただいた先生方

玉川大学教職大学院 教授
練馬区立谷原中学校 校長

佐藤 久美子 先生
大槻 亨 先生

研究に携わった教職員 ◎研究推進委員長 ○研究推進委員

校長	井上 靖	副校長	幸田 達也	松村 信江
主幹教諭	久保田浩史			
学年	1組	2組	3組	4組
第1学年	武田 華那	○鈴木昌太郎	小林 純一	大越優美江
第2学年	河野 駿輝	安居 淳	東條みちゑ	○岩谷 大希
第3学年	村井 康平	○久米 春恵	井上 萌	伊藤沙耶香
第4学年	○平野 雅子	中村 奉晴	野村 涼子	鈴木由美子
第5学年	○篠山 祐輔	大杉 優希	○太田 淳平	○中原眞沙江
第6学年	○三浦 希	辻 泰	大高 茜	遠近 哲也
音楽	中村 恭子	図画工作	○石井恵理子	理科
算数	森 武子		非常勤教員	金高久美子(学校経営補佐)
養護教諭	神田 良子	柿崎 ゆか	非常勤教員	福泉 俊子(主任軽減・後補充)
学力向上支援	御子柴千恵		図書管理員	高塚 綾乃
講師	算数習熟度: 大島かほる	音楽: 永田 真理		
スクールカウンセラー	吉田 諭江		心のふれあい相談員	石原美和子
学校生活支援員	藤澤 優子	学校生活臨時支援員	藤野 素子 川上 恵子 櫻井 淳子 白川 ひとみ	
スクールソポーター	島田 由梨	石井知左子	外国語アドバイザー	嶋崎 博子
A L T	Grace Morris		特別支援教室専門員	宮西 瞳子
新人育成	石川 昌子(4年3組)		栄養士	初瀬 早紀
事務	若松健太郎 松下 正治(事務補助) 上原 厚子(栄養士補助) 奈良 涼子(栄養士補助)		産休: 三橋 良子 育休: 吉岡 三咲 南 まどか	

おわりに

副校長 松村 信江

本校は、『コミュニケーションを楽しむ子供の育成』を研究主題に掲げ、外国語活動の授業研究を進めて今年で5年目を迎えます。令和2年度に全面実施となる新学習指導要領に向けてはもとより、子供たちには、目前に迫った東京オリンピック・パラリンピックを視野に入れ、国際的な感覚を育てるとともに、グローバル化が進む世界の中で生きしていくために、外国の方と物怖じせずに堂々とコミュニケーションを図る力が求められています。

こうした社会的な背景からも伝え合う力を育てていくことが必要と考え、副主題を「伝え合おう」が生まれる外国語・外国語活動~とし、5・6年生は年間70時間、3・4年生は35時間、1・2年生は12時間の外国語・外国語活動の授業を行っています。

子供たちが自分の思いを大切に、既習の英語を使って思考・判断して自分の言葉で相手に伝え、コミュニケーションを図る授業改善を行ってきました。教職員が、子供たちの思いを生かしてコミュニケーションする手立てを考えながら研究を深めていくことができたことも本校の研究の成果です。これからも更によりよい授業を目指して教職員一同、創造性を発揮して新たな課題に挑戦していく所存でございます。

最後になりましたが、本校の研究に貴重なご指導・ご助言をいただきました、講師の玉川大学教職大学院 教授 佐藤 久美子先生、練馬区立谷原中学校長 大槻 亨先生はじめ、本校の研究を導き支えてくださいました多くの皆様に心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。今後ともご指導を賜りますようどうぞよろしくお願い申しあげます。